

受講生満足度調査(2018年度前期)の集計結果について

調査活動WG長 青木 宏光

2018年度前期に実施された受講生満足度調査の集計結果についてご報告いたします。表1に受講生満足度調査を実施した科目数ならびに回答数(括弧内の数値)を示します。2017年度前期(202科目、回答数10,264)に比べ、調査科目数が若干少なくなっており、回答数もそれに依りて減少しております。

表2～4に授業区分毎の設問内容とそれに対する回答数を示します。

表1 受講生満足度調査を実施した科目数ならびに回答数

授業形式	共通教育	専門	計
講義	33 (1,473)	130 (7,194)	163 (8,667)
演習	6 (223)	20 (665)	26 (888)
実験・実習	—	10 (346)	10 (346)
計	39 (1,696)	160 (8,205)	199 (9,901)

表2 講義科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=8667)>

	設問	6	5	4	3	2	1	該当しない	無回答	平 均
		大変そう思う		まったくそう思わない						
1. あなたの自己評価	Q 1. この授業にどの程度出席しましたか。	6,691 100%	1,696 80-99%	230 60-79%	33 40-59%	11 20-39%	5 <20%	－	1	5.73
	Q 2. この授業に意欲的に取り組みましたか。	3,905 619	3,115 606	1,322 1,192	233 2,319	59 2,860	26 1,060	－	7 11	5.21 2.92
	Q 3. この授業の授業外学修（予習・復習等）を 1 週間で平均どの程度しましたか。	>4h	3-4h	2-3h	1-2h	<1h	0h			
	Q 4. この授業の到達目標を達成できましたか。	2,127	2,806	2,559	874	200	66	－	35	4.65
2. 授業内容と教員の評価	Q 5. この授業はシラバス等の内容に沿って行われましたか。	4,638	2,818	1,002	167	19	15	－	8	5.37
	Q 6. この授業の担当教員から授業に対する熱意を感じましたか。	5,044	2,546	834	176	37	24	－	6	5.42
	Q 7. この授業を受講して、この分野の興味を持った、または興味が増した。	3,539	2,868	1,571	460	145	73	－	11	5.04
	Q 8. 教員の説明は、丁寧に理解しやすかった。	4,110	2,638	1,316	389	146	60	－	8	5.15
	Q 9. 教員は、教材（教科書、資料、参考書など）を効果的に使用していた。	4,165	2,586	1,309	392	134	76	－	5	5.16
	Q 10. 教員は、専門分野の知見や事例を効果的に使用していた。	4,377	2,695	1,224	285	51	23	－	12	5.27
	Q 11. 板書や AV 機器を利用した教材は、見やすく、分かりやすかった。	4,033	2,563	1,281	447	136	60	136	11	5.14
	Q 12. 教員は、学生に講義への参加（質問、発言など）をうながした。	3,348	2,434	1,599	753	256	259	－	18	4.82
	Q 13. 教員は、講義中や講義時間外において、学生の質問にしっかり答えていた。	3,586	2,361	1,342	380	73	50	855	20	5.14
	Q 14. 教員は、予習や復習、事後学修のための指示や助言を適切に行っていた。	3,845	2,753	1,465	420	109	67	－	8	5.11
3. 総合評価	Q 15. 教員は、教室を静かに保つ配慮をしていた。	4,821	2,548	994	215	50	28	－	11	5.36
	Q 16. 総合的に考えて、この講義を受講してよかったと思いますか。	4,587	2,488	950	233	68	30	－	311	5.34

表3 演習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=888)>

	設問	6	5	4	3	2	1	該当しない	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない				
1. あなたの自己評価	Q 1. この授業にどの程度出席しましたか。	758 100%	113 80-99%	15 60-79%	2 40-59%	0 20-39%	0 <20%	－	0	5.83
	Q 2. 班を構成する人数は適切でしたか。	－	－	－	73 多い	349 適当	11 少ない	441	14	2.14
	Q 3. 班で取り組む演習では各人が適切な役割分担をした。	167	148	60	15	6	4	477	11	5.11
	Q 4. この授業に意欲的に取り組みましたか。	420	356	94	11	4	1	－	2	5.33
	Q 5. この授業の授業外学修（予習・復習等）を 1 週間で平均どの程度しましたか。	102 >4h	99 3-4h	156 2-3h	249 1-2h	203 <1h	79 0h	－	0	3.34
2. 授業内容と教員の評価	Q 6. 演習内容をよく理解できましたか。	277	391	177	30	6	7	－	0	4.99
	Q 7. この授業を受講して、この分野の興味を持った、または興味が増した。	272	339	201	49	17	10	－	0	4.87
	Q 8. 教員は演習の目的や内容を適切に説明していた。	366	364	133	10	7	7	－	1	5.18
	Q 9. 演習に対する教員の助言および指導は適切であった。	382	347	132	13	6	7	－	1	5.20
	Q 10. 演習課題に対する教員の助言および指導は適切であった。	365	340	131	17	8	4	22	1	5.18
	Q 11. 指導書（教科書、教材）の内容は適切であった。	390	349	110	16	4	2	16	1	5.26
	Q 12. 教員は、専門分野の知識・技術を適切に伝えていた。	413	344	111	12	3	5	－	0	5.28
	Q 13. 教員は演習中や研究室において、学生の質問にしっかり答えていた。	376	312	119	21	5	3	52	0	5.22
3. 総合評価	Q 14. 教員は、予習や復習、事後学修のための指示や助言を適切に行っていた。	371	334	134	16	3	10	20	0	5.18
	Q 15. 総合的に考えて、この演習を受講してよかったと思いますか。	413	338	80	15	9	2	－	31	5.31

表4 実験・実習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=346)>

	設問	6	5	4	3	2	1	該当しない	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない				
1. あなたの 自己評価	Q 1. この授業にどの程度出席しましたか。	316 100%	30 80-99%	0 60-79%	0 40-59%	0 20-39%	0 <20%	－	0	5.91
	Q 2. 班を構成する人数は適切でしたか。	－	－	－	67 多い	250 適当	16 少ない	11	2	2.15
	Q 3. 班で取り組む実験では各人が適切な役割分担をした。	169	92	56	6	6	1	15	1	5.24
	Q 4. この授業に意欲的に取り組みましたか。	220	95	24	4	3	0	－	0	5.52
	Q 5. この授業の授業外学修（予習・復習等）を 1 週間で平均どの程度しましたか。	50 >4h	50 3-4h	73 2-3h	96 1-2h	62 <1h	14 0h	－	1	3.68
2. 授業内容と 教員の評価	Q 6. 実験内容をよく理解できましたか。	115	128	80	19	4	0	－	0	4.96
	Q 7. この授業を受講して、この分野の興味を持った、または興味が増した。	143	112	72	12	4	3	－	0	5.07
	Q 8. 教員は実験の目的や内容を適切に説明していた。	164	128	46	4	1	1	－	2	5.30
	Q 9. 実験に対する教員の助言および指導は適切であった。	181	117	43	3	2	0	－	0	5.36
	Q10. 実験レポートに対する教員の助言および指導は適切であった。	168	116	46	12	0	0	4	0	5.29
	Q11. 指導書（教科書、教材）の内容は適切であった。	161	114	52	11	1	0	7	0	5.25
	Q12. 教員は、専門分野の知識・技術を適切に伝えていた。	206	99	36	3	1	0	－	1	5.47
	Q13. 教員は実験中や授業外において、学生の質問にしっかり答えていた。	200	102	33	5	2	0	4	0	5.44
	Q14. 教員は、予習や復習、事後学修のための指示や助言を適切に行っていた。	178	122	37	5	1	0	3	0	5.37
3. 総合評価	Q15. 総合的に考えて、この実験を受講してよかったと思いませんか。	203	98	27	5	1	1	－	11	5.47

次に2014年度後期から2018年度前期までの過去4年間における平均値の推移を授業区分毎に分けて示します。図1～3はこれらのデータを図示したものです。質問項目によっては平均値が小さいものがあり、これは図の右側の軸で表記しています（凡例に矢印付きで表記）。

表5 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	2014後期 (n=9860)	2015前期 (n=10163)	2015後期 (n=9181)	2016前期 (n=9318)	2016後期 (n=7249)	2017前期 (n=8330)	2017後期 (n=6926)	2018前期 (n=8667)
Q 1. 講義への出席率	5.55	5.68	5.64	5.70	5.66	5.72	5.65	5.73
Q 2. 授業に意欲的に取り組んだ	4.99	5.12	5.11	5.13	5.13	5.19	5.18	5.21
Q 3. 授業の授業外学修（予習・復習等）の時間	2.67	2.72	2.72	2.70	2.71	2.90	2.81	2.92
Q 4. 授業の到達目標を達成できた	4.39	4.50	4.53	4.49	4.54	4.60	4.65	4.65
Q 5. 授業はシラバスに沿って行われた	5.17	5.27	5.31	5.29	5.31	5.35	5.37	5.37
Q 6. 教員の授業に対する熱意を感じた	5.27	5.34	5.35	5.37	5.39	5.40	5.44	5.42
Q 7. 講義を受けて興味が増した	4.82	4.93	4.92	4.97	4.92	5.02	5.03	5.04
Q 8. 説明は理解しやすかった	4.96	5.04	5.05	5.08	5.06	5.12	5.16	5.15
Q 9. 教材を効果的に使用していた	4.97	5.06	5.13	5.09	5.16	5.18	5.22	5.16
Q10. 専門の知見や事例を効果的に使用していた	5.07	5.14	5.17	5.18	5.21	5.27	5.28	5.27
Q11. 板書やAV教材は見やすかった	4.91	5.03	5.04	5.05	5.05	5.13	5.17	5.14
Q12. 講義への参加を促した	4.70	4.76	4.86	4.79	4.81	4.84	4.88	4.82
Q13. 質問にしっかり答えた	4.96	5.03	5.06	5.07	5.11	5.11	5.17	5.14
Q14. 予習・復習の指示や助言は適切だった	4.85	4.92	4.98	4.95	5.05	5.07	5.11	5.11
Q15. 教室を静かに保つ配慮をした	5.11	5.21	5.24	5.23	5.28	5.29	5.35	5.36
Q16. この講義を受講してよかった	5.20	5.27	5.25	5.30	5.26	5.31	5.33	5.34

表6 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	2014 後期 (n=870)	2015 前期 (n=1516)	2015 後期 (n=877)	2016 前期 (n=1307)	2016 後期 (n=961)	2017 前期 (n=1559)	2017 後期 (n=669)	2018 前期 (n=888)
Q 1. 演習への出席率	5.72	5.75	5.78	5.83	5.79	5.87	5.66	5.83
Q 2. 班の構成人数は適切だった	2.16	2.18	2.17	2.19	2.10	2.12	2.13	2.14
Q 3. 班で各人が適切な役割分担をした	4.83	4.84	4.94	4.97	5.10	5.09	4.98	5.11
Q 4. 授業に意欲的に取り組んだ	5.16	5.20	5.24	5.26	5.33	5.38	5.29	5.33
Q 5. 授業の授業外学修（予習・復習等）の時間	2.78	2.53	2.85	2.87	3.18	3.32	2.91	3.34
Q 6. 演習内容をよく理解できた	4.76	4.83	4.81	4.93	4.79	4.97	4.92	4.99
Q 7. 演習を行って興味が増した	4.78	4.79	4.80	4.82	4.89	4.92	4.87	4.87
Q 8. 演習の目的や内容を適切に説明していた	5.04	5.10	5.08	5.13	5.13	5.22	5.20	5.18
Q 9. 演習に対する助言・指導は適切であった	5.08	5.12	5.09	5.12	5.17	5.20	5.23	5.20
Q10. 演習課題への助言・指導は適切であった	5.04	5.09	5.08	5.13	5.15	5.10	5.20	5.18
Q11. 指導書の内容は適切であった	5.03	5.11	4.98	5.14	5.17	5.22	5.13	5.26
Q12. 専門の知識・技術を適切に伝えていた	5.12	5.18	5.17	5.21	5.25	5.28	5.27	5.28
Q13. 質問にしっかり答えた	5.15	5.20	5.18	5.19	5.24	5.19	5.24	5.22
Q14. 予習・復習の指示や助言は適切だった	5.05	5.02	5.03	5.07	5.17	5.18	5.18	5.18
Q15. この演習を受講してよかった	5.23	5.30	5.26	5.30	5.30	5.36	5.33	5.31

表7 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	2014 後期 (n=521)	2015 前期 (n=315)	2015 後期 (n=757)	2016 前期 (n=674)	2016 後期 (n=649)	2017 前期 (n=375)	2017 後期 (n=979)	2018 前期 (n=346)
Q 1. 実験への出席率	5.88	5.90	5.89	5.92	5.91	5.90	5.89	5.91
Q 2. 班の構成人数は適切だった	2.17	2.17	2.15	2.19	2.19	2.18	2.17	2.15
Q 3. 班で各人が適切な役割分担をした	5.06	5.08	5.21	5.17	5.23	5.22	5.24	5.24
Q 4. 授業に意欲的に取り組んだ	5.49	5.51	5.52	5.42	5.54	5.53	5.51	5.52
Q 5. 授業の授業外学修（予習・復習等）の時間	3.20	3.34	3.34	3.40	3.45	3.59	3.47	3.68
Q 6. 実験内容をよく理解できた	4.95	4.88	5.01	4.88	5.16	5.08	5.11	4.96
Q 7. 実験を行って興味が増した	5.14	5.34	5.12	5.10	5.33	5.27	5.18	5.07
Q 8. 実験の目的や内容を適切に説明していた	5.32	5.38	5.31	5.22	5.45	5.37	5.33	5.30
Q 9. 実験に対する助言・指導は適切であった	5.37	5.47	5.34	5.29	5.48	5.36	5.34	5.36
Q10. 実験レポートへの助言・指導は適切であった	5.22	5.29	5.25	5.20	5.35	5.23	5.31	5.29
Q11. 指導書の内容は適切であった。	5.25	5.30	5.28	5.27	5.36	5.28	5.28	5.25
Q12. 専門の知識・技術を適切に伝えていた	5.41	5.49	5.39	5.33	5.51	5.44	5.40	5.47
Q13. 質問にしっかり答えた	5.46	5.56	5.40	5.36	5.52	5.50	5.45	5.44
Q14. 予習・復習の指示や助言は適切だった	5.26	5.40	5.31	5.24	5.37	5.33	5.34	5.37
Q15. この実験を受講してよかった	5.56	5.65	5.53	5.47	5.68	5.61	5.53	5.47

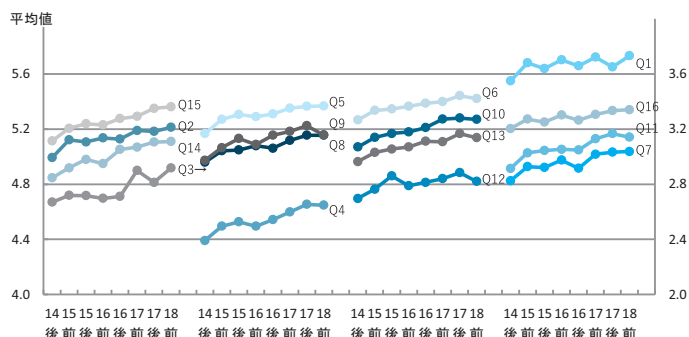


図1 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

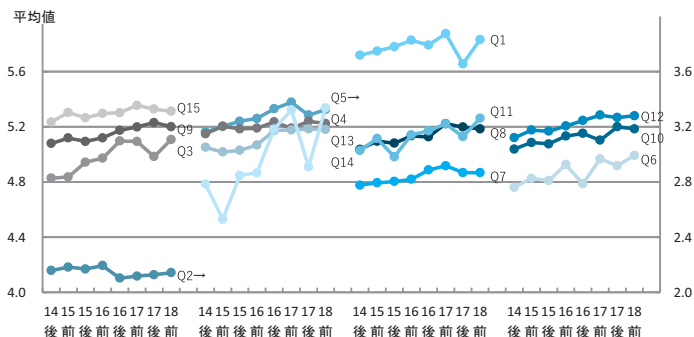


図2 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

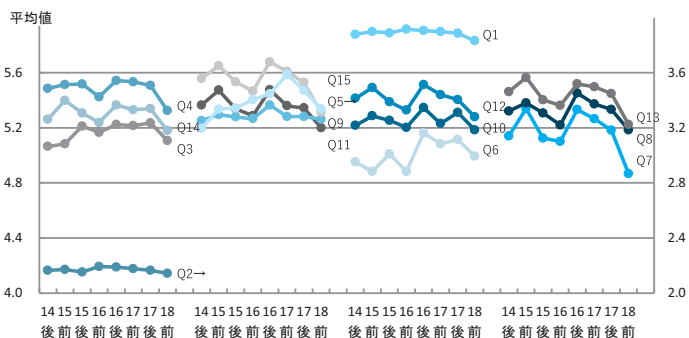


図3 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

最後に、授業外学修時間の推定値を示します。授業外学修に関する設問で回答1：0時間、2：0.5時間、3：1.5時間、4：2.5時間、5：3.5時間、6：4.5時間と仮定して、回答数から平均の授業外学修時間を算定しました。また、授業外学修が1時間未満の学生の割合を授業区分毎にまとめ、過去4年間の推移を示しました。

表8 授業外学修時間の推定値（単位：時間、過去4年間）

	2014後期	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期
講義	1.26	1.30	1.30	1.28	1.29	1.45	1.39	1.48
演習	1.36	1.14	1.43	1.45	1.74	1.87	1.48	1.88
実験・実習	1.72	1.85	1.86	1.92	1.96	2.10	2.00	2.20

表9 授業外学修が1時間未満の学生の割合（過去4年間）

授業外学修	2014後期	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期
講義								
0h	18.1%	16.0%	16.5%	16.5%	16.3%	11.0%	15.3%	12.2%
0-1h	35.1%	35.3%	35.6%	36.4%	35.8%	34.1%	33.8%	33.0%
演習								
0h	15.5%	22.2%	16.5%	15.7%	10.4%	10.2%	14.1%	8.9%
0-1h	32.6%	33.2%	29.5%	30.1%	25.1%	24.7%	31.3%	22.9%
実験・実習								
0h	5.6%	3.8%	2.9%	2.5%	3.1%	3.2%	6.0%	4.1%
0-1h	21.5%	23.5%	17.8%	24.8%	22.7%	20.3%	21.7%	18.0%

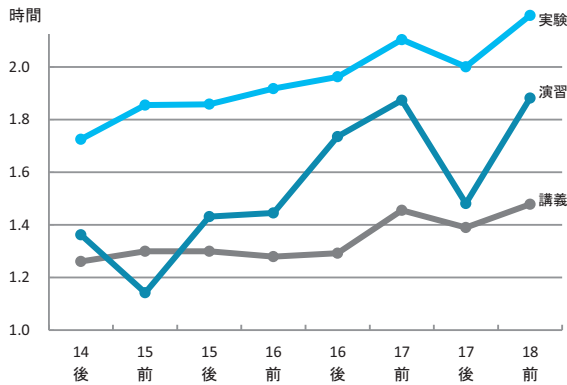


図4 授業外学修時間（推定値）の推移（過去4年間）

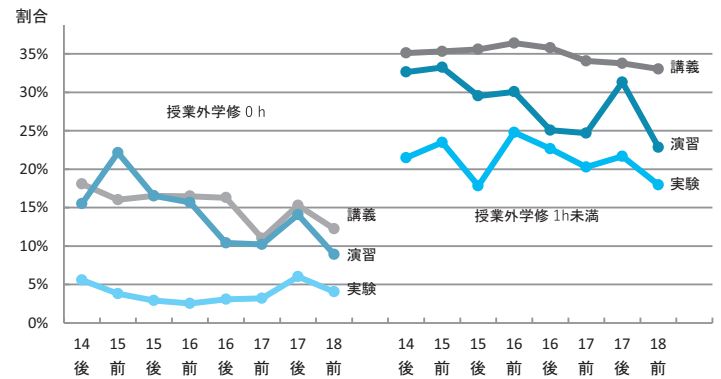


図5 授業外学修時間が1時間未満の学生の割合

講義科目、演習科目共に設問に対する回答の平均値は依然として上昇傾向にあり、学生の学修スタイル・ニーズに合わせようと教員が継続的に努力していることが窺えます。データには示していませんが、回答数の多い講義科目では、医療技術学科、リハビリテーション学科、看護学科の学科平均が全体平均に比べて高くなっており、国家資格などの免許取得と直結する学科ほど評価が高くなる傾向があるように感じます。実験・実習科目に関しては元々平均値が高いため、ほぼ横ばいから少し下降気味という状況です。

表2（講義科目）の数値を見ると、Q8「教員の説明は、丁寧に理解しやすかったか？」という設問に否定的な回答（1～3）をしている学生が全体平均で約7%います。これも学科間の差異が大きく、低い学科では平均3%程度なのに対し、平均16%にもなる学科もあります。自由記述欄への書き込みは、学生が授業に対してどのような要望・意見・感想を持っているのかを知るために大変有用です。個々の科目に記入されたコメントを各教員が真摯に受け止めることで、授業における教員と学生の信頼関係が深まり、授業の改善につながるのではないかと期待しています。

授業外学修時間に関しては、2017年度後期に一度下がったものの、2018年度前期では、2017年度前期とほぼ同等か、むしろ若干伸びている結果となっております。前期に実施される科目と、後期に実施される科目間の差異があるのかもしれません。ただし、実習・実験科目では少ないものの、講義科目では授業外学修時間が1時間にも満たないという学生が半数弱、演習科目では3割程度占めています。半期2単位の講義科目の単位を実質化させるためには、毎週4時間の自習時間が必要と言われてはいますが、依然として遠く及ばない状況です。学生が自発的に学修を進められるよう、学生の学修意欲を高めるような工夫も必要となってくると思われます。今後とも、受講生満足度調査を含むFD活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

